

令和2年度 高知県の後期高齢者医療費の概況

1. 後期高齢者医療制度について

(1) 後期高齢者医療制度の概要

後期高齢者医療制度は、高齢者の医療費の負担を高齢者世代と現役世代で明確にし、公平で分かりやすい制度とする観点から、原則75歳以上の方を対象とした医療保険制度として、平成20年4月に創設されました。

※制度についてのより詳しい説明は、ホームページ上の「後期高齢者医療制度の概要」などをご覧ください。

(2) 後期高齢者医療制度の対象者

- ①75歳以上の方
- ②65歳以上75歳未満で寝たきり等の一定程度の障害の状態にあることについて後期高齢者医療広域連合の認定を受けた方

(3) 後期高齢者医療費とは

後期高齢者医療費とは、入院診療費、外来診療費、歯科診療費、調剤費用、入院時食事・生活療養費、訪問看護療養費など、一部負担金(医療機関の窓口で支払う患者負担金)を含めた医療費の合計額のことです。

ただし、健康診断や予防接種などの自費診療分は除きます。

2. 後期高齢者医療費の財源構成について

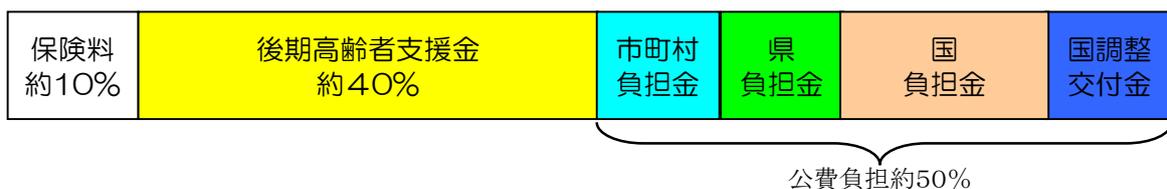
一部負担金を除いた後期高齢者医療費は、被保険者からの保険料が※約10%、現役世代が加入する各医療保険者(国保、協会けんぽ、共済等)からの後期高齢者支援金が約40%、残り約50%を国、県、市町村が4:1:1の割合で負担(公費負担)します(表1-1、表1-2参照)。

ただし、現役並み所得者(原則、課税所得が145万円以上の方)の一部負担金を除いた医療費については公費負担がありません。

※保険料の割合は、2年ごとに政令で定められ、平成28、29年度は10.99%、平成30年度、令和元年度は11.18%、令和2、3年度は11.41%、令和4、5年度は11.72%となっています。

表1-1

一部負担金を除いた医療給付費の財源構成

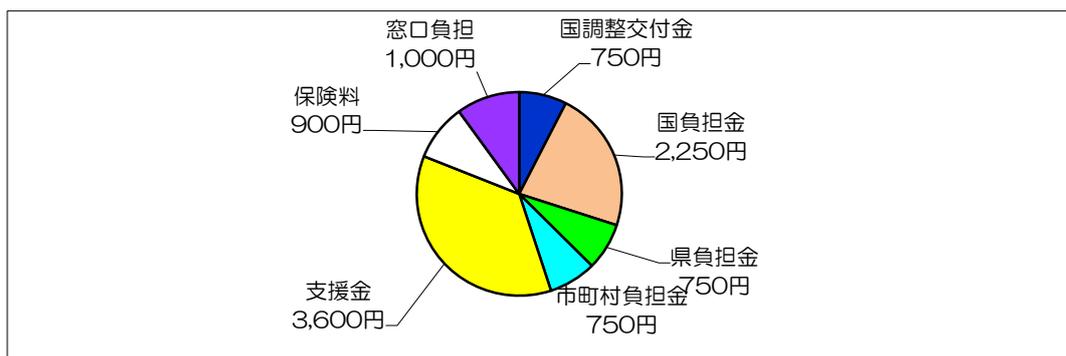


※現役並み所得者については公費負担がありません。

表1-2

総医療費が1万円の場合の財源構成

・医療機関での窓口負担が1割、保険料の割合を10%とした場合の例



3. 高知県の後期高齢者医療費の状況

【状況】

令和2年度の高知県の後期高齢者医療費は、約1,471億円で、前年度に比べ、約36億円、2.4%減少しています(表2-1参照)。

また、平均被保険者数は127,600人で、前年度に比べ、246人、0.2%増加しており(表2-2参照)、一人当たりの医療費は、約1,153千円で、前年度に比べ、約31千円、2.6%減少しています(表3参照)。

【本県の医療費が高い要因】

高知県の医療費が高い要因は、1人当たりの入院医療費が高い(全国第1位)ことが挙げられます。これは、人口10万人当たりの病床数が多い上に、入院受診率が高く、入院期間が長期化していることが影響しているものと考えられます。

- ①人口10万人当たりの病床数(介護療養病床除く)が全国第1位で全国平均の約1.9倍(令和2年度)
- ②入院受診率が非常に高く、全国第1位(令和2年度)
- ③入院レセプト1件当たりの入院日数が全国第1位(令和2年度)
- ④平均在院日数(介護療養病床除く)が全国第1位(令和2年度)

表2-1 医療費の推移

年度	総額(億円)	対前年度比
平成28年度	1,425	98.5%
平成29年度	1,464	102.7%
平成30年度	1,482	101.2%
令和元年度	1,507	101.7%
令和2年度	1,471	97.6%

表2-2 被保険者数の推移(3~2月末平均)

年度	被保険者数(人)	対前年度比
平成28年度	123,521	101.2%
平成29年度	125,016	101.2%
平成30年度	125,771	100.6%
令和元年度	127,354	101.3%
令和2年度	127,600	100.2%

表2-1グラフ

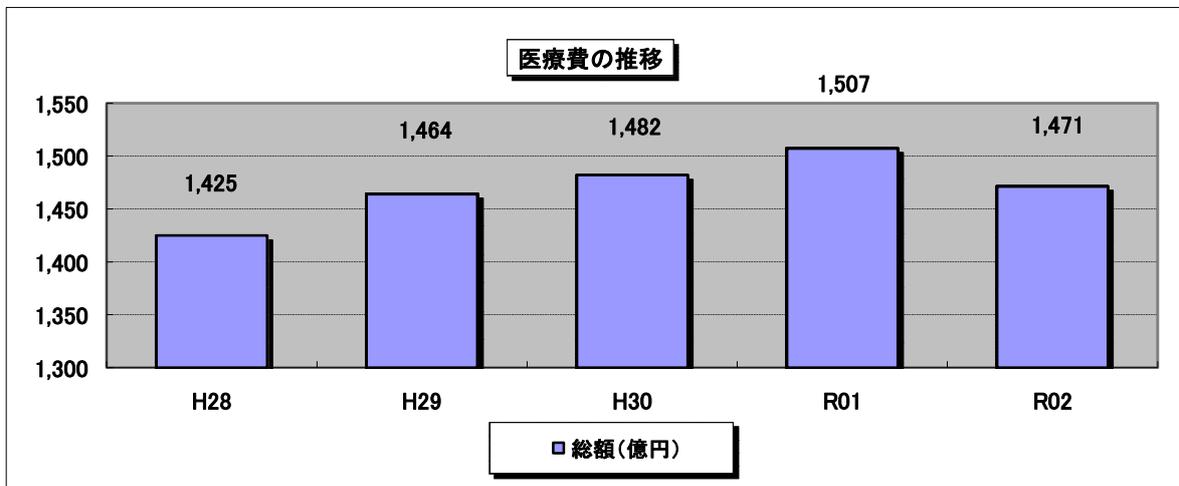


表2-2グラフ

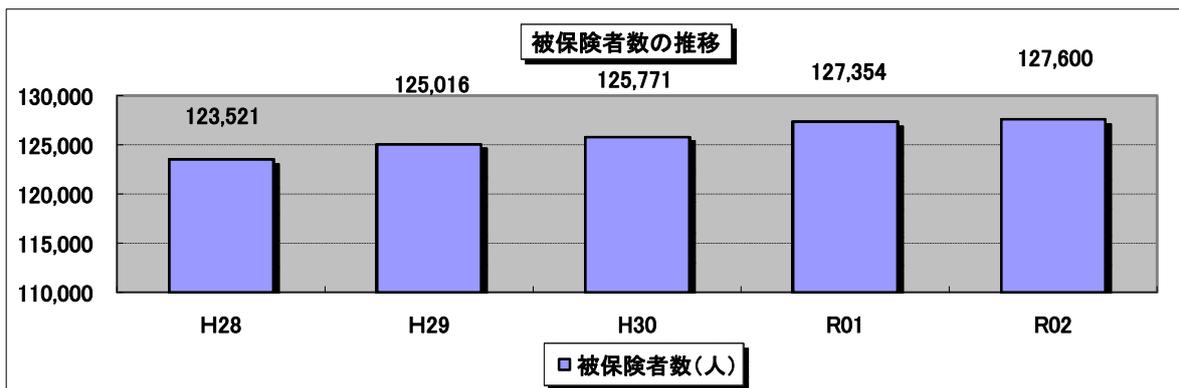
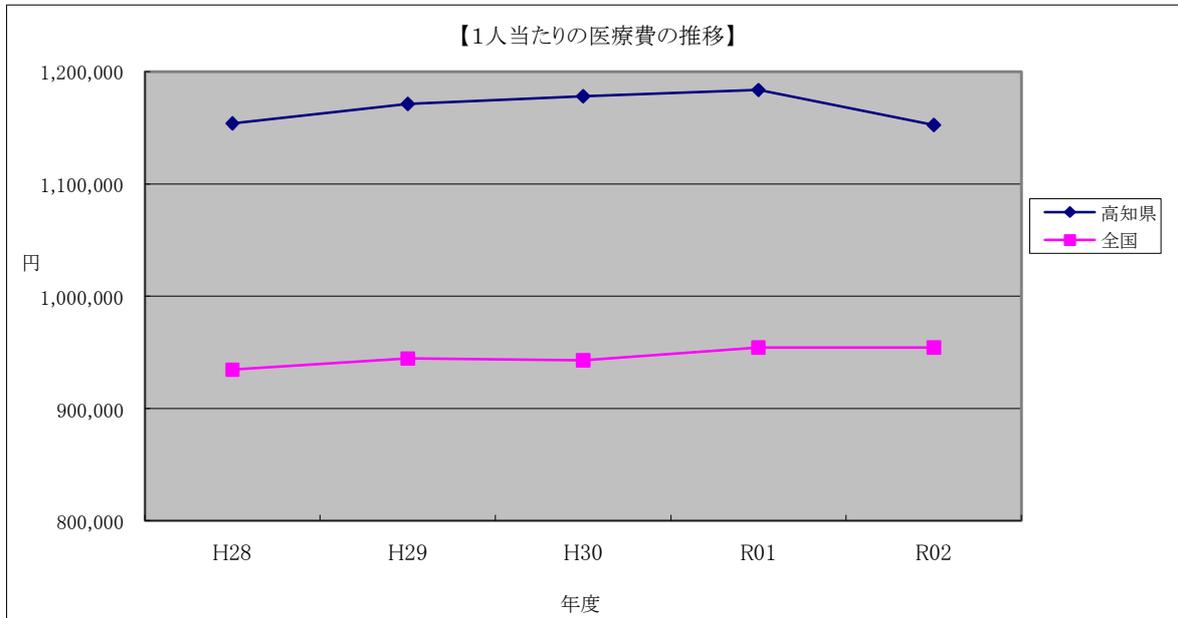


表3

1人当たりの医療費の推移

年度	実数(円)/年	対前年度比	全国平均(円)/年	対全国比	全国順位
平成28年度	1,153,981	97.4%	934,547	123.5%	2位
平成29年度	1,171,339	101.5%	944,561	124.0%	2位
平成30年度	1,178,054	100.6%	943,082	124.9%	2位
令和元年度	1,183,694	100.5%	954,369	124.0%	2位
令和2年度	1,152,631	97.4%	917,124	125.7%	1位

表3グラフ



(表1, 2, 3の数値について)

H28～R02年度は「後期高齢者医療事業報告書(厚生労働省発行)」の数値。

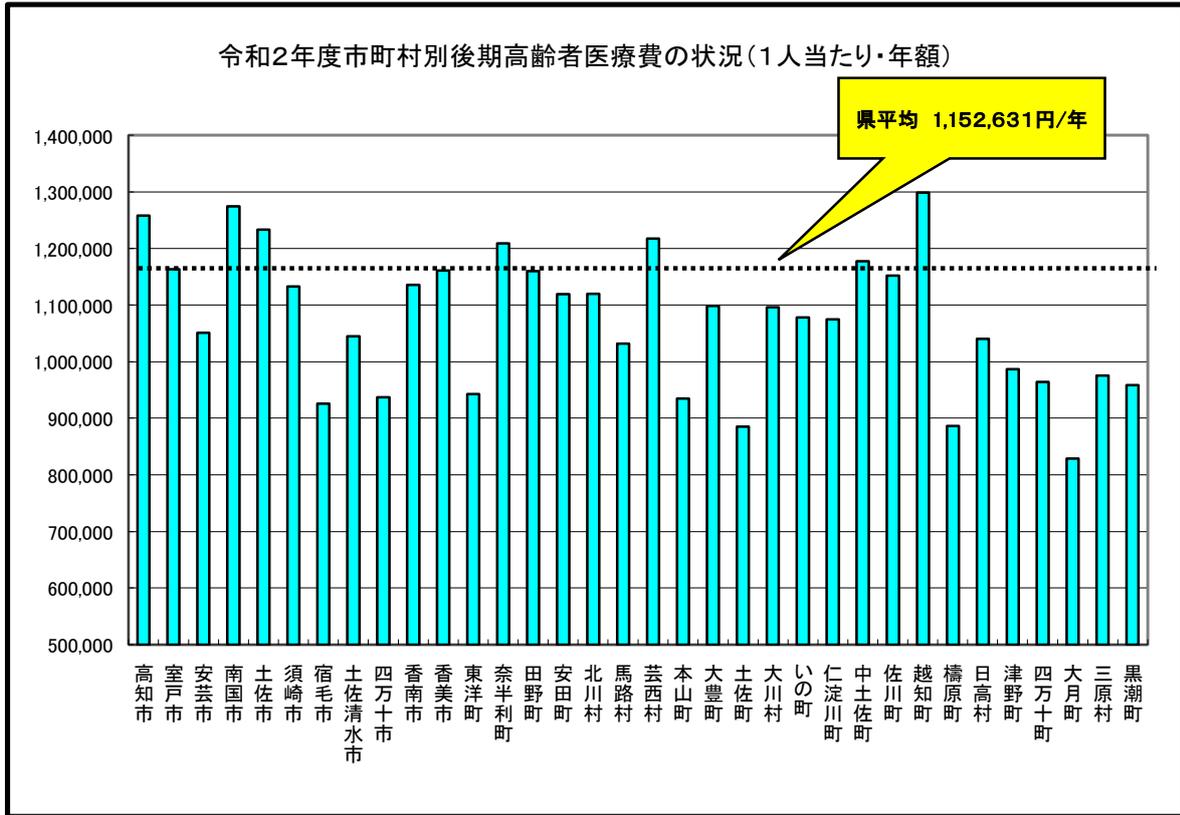
4. 市町村別後期高齢者医療費について

表4 令和2年度 市町村別後期高齢者医療費の状況

市町村名	後期高齢者医療被保険者数 (3~2月平均被保険者数)	医療費(円)	1人当たり医療費(円)			
			月額	年額	県平均を100とした指数	順位
高知市	47,197	59,390,192,665	104,862	1,258,338	109.2	3
室戸市	3,291	3,828,380,964	96,941	1,163,170	100.9	8
安芸市	3,605	3,787,783,786	87,559	1,050,703	91.2	20
南国市	7,450	9,492,303,223	106,178	1,274,177	110.5	2
土佐市	5,066	6,246,035,755	102,744	1,232,892	107.0	4
須崎市	4,540	5,144,192,642	94,424	1,133,020	98.3	13
宿毛市	3,840	3,555,887,417	77,168	926,012	80.3	31
土佐清水市	3,579	3,738,788,289	87,054	1,044,695	90.6	21
四万十市	6,153	5,766,430,036	78,098	937,110	81.3	29
香南市	5,483	6,224,404,460	94,602	1,135,236	98.5	12
香美市	5,828	6,768,972,600	96,788	1,161,441	100.8	9
東洋町	645	608,097,959	78,566	942,301	81.8	28
奈半利町	763	922,092,043	100,709	1,209,037	104.9	6
田野町	619	717,481,514	96,591	1,159,722	100.6	10
安田町	684	765,399,922	93,250	1,119,142	97.1	15
北川村	329	368,228,217	93,270	1,120,086	97.2	14
馬路村	220	226,951,998	85,967	1,031,991	89.5	23
芸西村	756	920,408,922	101,456	1,217,338	105.6	5
本山町	980	916,575,947	77,940	935,282	81.1	30
大豊町	1,270	1,394,960,965	91,533	1,098,683	95.3	16
土佐町	1,021	903,465,214	73,740	885,172	76.8	33
大川村	107	117,753,085	91,708	1,096,227	95.1	17
いの町	4,531	4,885,931,808	89,861	1,078,394	93.6	18
仁淀川町	1,806	1,941,110,505	89,568	1,074,862	93.3	19
中土佐町	1,772	2,087,050,994	98,150	1,177,517	102.2	7
佐川町	2,676	3,082,566,303	95,994	1,152,038	99.9	11
越知町	1,484	1,926,502,021	108,182	1,298,328	112.6	1
檮原町	911	807,492,322	73,865	886,461	76.9	32
日高村	1,139	1,183,909,911	86,619	1,039,886	90.2	22
津野町	1,485	1,464,324,109	82,173	986,243	85.6	24
四万十町	4,139	3,989,064,213	80,315	963,814	83.6	26
大月町	1,245	1,031,873,215	69,068	828,925	71.9	34
三原村	419	408,800,597	81,305	975,270	84.6	25
黒潮町	2,568	2,461,764,591	79,886	958,724	83.2	27
県	127,600	147,075,178,212	96,052	1,152,631	100.0	

・高知県後期高齢者医療広域連合による数値

表4グラフ 令和2年度市町村別後期高齢者医療費の状況(1人当たり・年額)



【市町村別医療費の状況】

県内の後期高齢者医療被保険者数の約5割を占め、医療機関が約7割集中する県中央部での一人当たりの医療費が高く(南国市2位、高知市3位、土佐市4位)、そのことが高知県の医療費を押し上げる要因となっています。また、芸西村(5位)、奈半利町(6位)、室戸市(8位)をはじめとする県東部地域では、医療費が高い傾向にあり、逆に四万十市(29位)、宿毛市(31位)、大月町(34位)など西部地域では、低い傾向にあります。